

正しく知って、賢く使う

# 優遇税制



## Point

- ① 税制の違いを知る
- ② 即時償却・特別償却と税額控除の違いを知る
- ③ メリットとデメリットを知る

中小企業の設備投資において、生産性向上の後押しとなる税制「中小企業等経営強化法」についてポイントを解説いたします！

### ポイント① 税制の違い

- ・中小企業等経営強化法は、「経営強化税制」と「投資促進税制」があり、いずれも『法人税』の特別償却や控除に関する税制
- ・「経営強化税制」と生産性向上特別措置法『固定資産税』の軽減措置は同一証明書で申請可

### ポイント② 償却と税額控除

- ・即時/特別償却とは、投資費用の全額もしくは一定割合を設備取得年度の経費に計上できる制度
- ・税額控除とは、税金から一定割合を控除できる制度（減価償却は通常通り）

### ポイント③ メリットとデメリット

	即時償却	特別償却	税額控除
対象税制	経営強化税制	投資促進税制	経営強化税制・投資促進税制
措置内容	投資費用の100%を設備取得年度の経費に計上	投資費用の30%を設備取得年度の追加経費として計上	経営強化税制は10%控除※1 投資促進税制は7%控除※2
メリット	設備投資した初年度分の納税を先延ばしにでき、その分を設備投資等に充当できる	一年間の繰越が可能 計画書の作成や工業会発行の証明書は不要	税額控除分だけ税金を免除できる
デメリット	翌年度以降の節税効果はない 税金を免除できるわけではない	税金を免除できるわけではない 繰越をする場合は手続きが複雑	利益が出ていない場合は節税効果が少ない

※1 資本金3,000万円超は7%税額控除  
 ※2 資本金3,000万円超は30%特別償却のみ

# Aiyon News

vol.35 2019年9月号



南星機械・初代社長が設計に携わった「震電」グッズを2名様にプレゼント!!!

応募方法は当社webサイトにて公開  
 右のQRコードからもアクセス可 ⇒

【募集期限：2019年12月20日（金）まで】

＼当たりマス／

www.aiyon.co.jp



## オカダアイオン 80周年 南星機械 70周年 記念式典開催 in 大阪



2019年7月21日、ハイアットリージェンシー大阪でオカダアイオン80周年・南星機械70周年の「オカダアイオングループ周年記念式典」が開催されました。取締役12名による鏡開きに始まり、劇団Congrazieによるオリジナル寸劇「オカダアイオン・南星機械のあゆみとこれから」ではオカダの社員もメンテナンス隊として好演しました。豪華景品をかけたビンゴゲーム大会や前西常務の締めの方歳など、記憶に残る式典になりました。総勢390名が一堂に会して、社員同士の絆も深まり、岡田社長による新体制の下、オカダグループが益々結束し発展していこうと誓いました。《総務部・東良》

## 3Dプリンタ活用

海外での弊社ツール交換式小割機の販売促進のため、3DプリンタでOSC-220USの模型を1/10スケールにて作製しました。シリンダの内部まで再現されているのでアーム開閉が可能であり、交換式のツールは内蔵されたマグネットにて着脱が可能です。完成した模型はアメリカへと渡り、お客様との商談の際に活用される予定です。《ワクワクものづくり推進室・富樫》



## ノベルティ作ります!

営業部では新規ノベルティを検討中です。先日業者さんと打ち合わせを行いました。5アイテム提案し、只今商品イメージデザインをご準備いただいております。仕上がりが楽しみです。「欲しくなるオカダノベルティ」にしたいと思います。素敵なノベルティのアイデアがございましたら、お知らせください。《営業部・吉野》



## オカダアメリカ オープンハウスイベント開催

オハイオ営業所（オハイオ州・クリーブランド近郊）の拡張を記念してオープンハウスイベントを開催し、ディーラー・ユーザーをはじめ、地方政府関係者、地域の協力会社、メディア関連取引先など約55名が来場し、盛況のうちに終わることができました。拡張後の敷地面積は930㎡増の2800㎡となり、ディーラートレーニングセンターの新設、10tonクレーンの追加設置、在庫スペースの拡大を実現し、アメリカ3拠点の中で最大となりました。クレーンについては、これまで3.5ton 1基のみでしたが、10tonクレーン追加によりお客様のニーズに迅速に対応できる体制となりました。《オカダアメリカ・兼森》



## 三隅川発電所・続報

前号のアイオン新聞でご紹介した三隅川発電所のニュースの続報です。3月14日より島根県浜田市の三隅川発電所の発電設備更新 水圧鉄管・導水路工事用の2.6tケーブルクレーンと4.0tケーブルクレーンの架設工事に入っておりましたが、おかげさまで8月5日に4.0tケーブルクレーンの落成検査を合格し、無事故で工期内に終わる事が出来ました。今後は、当該ケーブルクレーンを使って本格的な設備の改修工事が始まり、各地の水力発電所の改修工事が増える見込みです。《南星機械・折尾》



## 南星機械の始まり

南星機械は第二次世界大戦が終結した三年後一九四八年（昭和二十三年）に株式会社南星工作所としてスタートしました。初代の社長西郷博は大学を卒業後「零戦」の設計に参画し、その後プロペラが機体の後ろにある前翼式飛行機「震電」などの設計に携わったのち、熊本工業専門学校（現熊本大学工学部）の教授に就任しました。戦争で破壊しつくされた日本の産業復興に少しでも役に立ちたいという思いで、西郷教授のもとに集まったのが二代目の社長になる西村純義と五名の熊本工業専門学校の研究助手たちでありました。日本の南にいつまでも輝く星でありたいという理想を社名の「南星」として取り入れ、南星工作所は熊本市内でスタートしました。当初南星工作所は九州全土の国有林を管轄していた熊本営林局から様々な林業機械、土木工事を受注することから始まり、昭和二十八年には国産の集材用ウインチの量産がスタートしました。この集材機の完成で今までは海外製の大型で高価であった集材機が国産により小型化とコストダウンができ日本各地の国有林のみならず民有林でも採用されるようになります。戦後の日本の復興、森林整備に大いに役に立つことができました。



©2010 熊本県くまモン #K22221